

組合共同 事業の紹介

[共同施設管理運営]

～日本海の荒波で育った「海の宝」、

鳥海山の湧水で育った「山の宝」～



組合名	八福神産直協同組合
住所	〒999-8438 飽海郡遊佐町比子字青塚31-38
電話番号	0234-43-1778
FAX番号	0234-43-1787
設立	平成24年10月
出資金	60万円
組合員	6名
主な業種	共同施設の設置利用及び運営 販売促進の共同宣伝



産直施設 え〜こや八福神

背景と目的

遊佐町に進出している大阪有機化学工業株式会社酒田工場の竣工10周年を祝う式典の席上、鎮目泰昌社長が、地域貢献の一環として、同工場近く比子地区の社員寮建設予定地に産直施設などを整備すると発表、平成24年11月に国道7号線沿いに産直施設「え〜こや八福神」をオープンした。買物のできる商店を地区内にもたない住民ために食料品等を提供することが狙い。

施設は2階建てで1階は地元産の野菜や加工品などを販売する「産直野菜コーナー」や新鮮な魚介類を陳列する「鮮魚コーナー」、ラーメンショップなど、2階には自然豊かな遊佐の恵みを味わえる「農家レストラン八福神」が入っている。

なお、名前の由来には、「お客様や農家の方など、この施設に来る皆様が八番目の神様」との想いが込められている。

事業・活動の 内容

組合事業としては、施設の運営管理、食材の提供、共同受注、共同宣伝を行っている。店内で販売される食料品は、女性目線で選んだ吟味したものだけを並べている。ゴールデンウィークを前に、飲食部門の充実、庄内の季節の海産物を使った浜焼き、兵庫県内の人気店のピザセットの販売はじめた。

コインランドリーとコンビニが4月30日にオープンした。また、診療所と薬局を併設する計画もあり、現在、入居者を探している。

効果

今まで同地区には商店がほとんどなかったため、住民に食料品を主とした生活必需品を提供する場が確保されたほか、地元農家に対しては出荷場所を提供しており、農産物の需給マッチングに大きく貢献している。さらに、将来的に診療所が入居すれば、受診から買物まで、お年寄りらがワンストップで用事を済ませられる複合施設となりうる。

災害発生時、同施設を地域住民の避難拠点として活用するため、町の南地区の住民、組合、大阪有機化学との三者で、防災協定を結んだ。地震、風水害その他の災害発生時には、施設が避難場所として、また、施設内の食料品が非常食として住民に提供される。